

AWARDS FUKUOKA 2017 エントリーシート

事業名称	八女の魅力（たから）発掘隊 シェアして広げよ！どこまでも！
申請LOM名	一般社団法人 八女青年会議所
事業年度LOM会員数	40名
事業年度理事長	2016年度 緒方 大輔
2017年度理事長	川浪 寿士
事務局住所	〒834-0063 福岡県八女市本村 425-22-2
事務局TEL/FAX	TEL：0943-24-4022 FAX：0943-24-4220
担当者	氏名：橋村 賢二 電話番号：090-7388-5238 E-Mail：kouji@hashimura.jp

事業参加者 (実施合計 名)	J C 会員数	実施 34 名	計画 40 名
	協力団体・企業 などの関係者数	実施 8 名	計画 8 名
	一般参加者数	実施 47 名	計画 40 名
事業実施に至る背景	<p>私たちのまちは市町村合併した事で広大な面積を所有しています。しかし、 広大すぎる故に各地域間の事を知らず興味も持たない人が増えています。 加えて、過疎化の進むこのまちでは地域の歴史・文化を伝える人も相手も 減少し、地域社会との接点も薄くなってきています。このままでは貴重な 地域資源が埋もれつつあります。</p>		
事業目的 対外	<p>八女市・広川町を含める地域の方々が自分の暮らすまちの歴史・文化の 知識を深める事と同時に他の地域に興味を持ち、魅力を感じる事で地域醸 成のきっかけづくりを行う。</p> <p>地域外の方々には、今まで知らなかった八女・広川を体感して頂き、暮 らすまちとは異なる空気を吸ってもらう事で違いを認識し、お互いの魅力 を感じて頂く。</p> <p>地域内外の方々が行動を共にする事で、十人十色の意見を引き出し SNS (Facebook 等) を活用して投稿し参加者以外の方々にも八女地域に興味 を持って頂き、地域活性やコミュニティづくりに繋げていく。</p>		
事業目的 対内	<p>SNS (Facebook 等) を活用した初めての事業として、情報の拡散方法と 人との繋がりをリアクションにて確認する。</p> <p>自分たちの育った地域を互いにアピールする機会と共に知識を深める事が でき、誇りを持ち今後の八女 JC の活動はもとより、それ以外の活動でも地 域活性やコミュニティづくりにつなげていく。</p>		
事業内容	<p>この事業は八女青年会議所オリジナルソーシャルマラソンです。ソーシ ャルマラソンとは、走る距離もコースも自由という新しいマラソンイベン トです。決められた時間にゴール地点に到着する事が基本的なルールです。 コース上で見つけた地域の魅力（たから）を SNS (Facebook 等) を活用し</p>		

	<p>投稿することで情報が拡散していく事業です。簡略化すると、まち歩きに SNS (Facebook 等) をプラスした事業となります。</p> <p>ゴール後にはそれぞれの発信を見ながら、討議、感想発表を行い、表彰を行います。</p>	
<p>事業の概要 (○を付けてください)</p>	開催の形式	主催・共催・主管・副主管
	事業対象者	メンバー・市民・小学生・その他学生・その他
	事業区分	新規事業・継続事業
	公益・共益区分	公益・共益
<p>事業予算・決算</p>	予算額	¥399,000
	決算額	¥343,118
開催日時	2016年 10月 23日 9:30～ 10月 23日 17:30	
開催場所	八女市黒木町地域交流センター ふじの里 (スタート・ゴール地点) 八女市、広川町全域	
<p>協力団体</p>	共催	
	協賛	
	後援	八女市 広川町
	その他	地域おこし協力隊 八女市・広川町職員 各地域個人協力者
<p>事業実施へ工夫した点とその効果</p>	<p>1箇所地域に集中しない様に、合併前の旧八女市を東西2つ、上陽町、星野村、黒木町、矢部村、立花町、八女郡広川町の計8グループに分けて行動します。そうすることで合併前の独自に進化してきた文化に触れる事ができました。</p> <p>地域外の方々からの視点や意見を取り入れる為に市外、県外からも参加要請を行った。結果、多くの地域外から参加していただき、国籍も違う方々も参加され、様々な意見を聞くことができた。</p> <p>事前説明会にてグループ分け、ルール説明、コース(行先)を決め facebook の使用方法を説明します。結果、時間を有効に利用でき、より多くの発掘ができ、発表時も地域別にスクリーンに映し出す事ができました。</p> <p>年代も育ちも違うメンバーがグループとして各地を巡ることで様々な意見を引き出すと共に投稿する事で Facebook 内にて情報が拡散して走っていきます。結果、地域の課題や問題点が浮かび上がってきました。</p> <p>歴史・文化だけでなく、八女・広川の食についても考えて頂くために、</p>	

	<p>産地食材での弁当を提供する。結果、食や農産物について気付きを得ることができました。</p> <p>気付きをグループ内だけに留めない為にゴール後に発表・討議を行い、新しい発見と知識を深めます。結果、参加者全員が他地域の事を知ることができ、興味を持っていただけた。</p> <p>JC チームとして1グループ追加して、地域を限定せず別班にて参加者とは違うコースを廻り、JCとしての発見を模索する。結果、地域を勉強する機会となり参加者とは違った意見を発表する事ができた。</p>
地域社会への影響	<p>八女市・広川町の地域の方々には各地を巡った事で、今一度知識を深める事ができ、Facebook グループページや発表を見て他の地域も巡ってみたいかっと思わせる事ができたと共に地域の問題点が見えてきて、今後の課題を考えさせる場を作れた。</p> <p>地域外の方々には、八女市・広川町の自然や歴史に触れてもらう事で魅力を体感してもらえた。</p> <p>地域内外の方々が行動を共にした事でアピールができた事と当たり前だと思っていた事でも自信をもってPRしていい事に気付けた。発掘時間を短く感じさせる事ができ、また八女に行きたいと思ってもらう事ができた。参加者及びJCメンバーもまちを見つめ直す事ができた。</p> <p>矢部班は「げなげな矢部」というグループができ、新しい地域づくりが始まり、参加していただいた大学生はまちづくりに対して興味を持っていただき積極的な活動をされています。</p>
LOMへの影響	<p>八女JCとしてはSNSを活用した初めての事業でした。どのような投稿をすれば見ていただけるのか、リアクションしていただけるのか考えさせられ、今後のLOMの投稿の参考になりました。</p> <p>事業を行ったことで、グループ長、副グループ長は担当地域に参加者にプレゼンしお迎えするために勉強したことで地域の発見と周知ができました。</p> <p>私たちが生まれ育った故郷、私たちの事業所があり暮らさせてもらっている八女・広川地域を個人差はありますが、知ることができ改めて故郷の良さを再確認ができました。故郷を愛する心を思い返す事ができ、良さを口に出してはっきりと伝える事ができるようになりました。</p> <p>まちを知らなければ問題点や改善点は見えてきません。LOMとしてや行政としても課題が見えてきて、今後の取り組みの参考となりました。</p> <p>いろいろな方が故郷を良くしようと取り組んであります。その方々と意見を交換する事ができ、繋がる事ができました。私たちも負けない様に取り組んでいかなければと思わせる機会でした。</p>
事業PRポイント ご自由に記載して下さい	<p>まちを改善していくには、まちを知らなければなりません。1人が知っているだけでもいけません。参加者全員1日楽しみながら、まちの知らな</p>

	<p>かった魅力（たから）を体感でき、美味しいものも食べる事ができる。</p> <p>その結果がまちづくりに関心を持ってもらえて気付いた事を話せば改善点や問題点の参考になり、まちづくりの一助になっている。そういうやりかたもあるのだと参加された方々が気付けば、まちづくりに関心を持った方が増えて地域は活性化していくのではないのでしょうか。</p> <p>何より参加者の方々がまた参加したいとか、今度は主催者側で手伝いたいとアイデアを教えてくださいました。知り合いに連れてこられた方も八女、広川地域に興味を持ってもらえましたし、自分の暮らすまちはどうなんだろうと考える機会を作る事ができました。参加者同士の新しい繋がりも出来ています。この事業は八女 JC オリジナルですが、どこの LOM でも実施可能です。皆さんの LOM でオリジナルを作ってみてはいかがでしょうか。</p>
--	---

事業風景写真も 4～5 枚程度あわせてお送り下さい。

エントリーアドレス： fukuoka.awards@gmail.com